



下田まち遺産のある風景。

まちなかにある 下田まち遺産を浴衣で巡る。

下田まち遺産が数多く点在する下田のまちなかエリア。
和の風情が漂うエリアの中を、浴衣で歩くと気付く港町独特の景観。

レンタル浴衣協力 「きものと布 喜久屋」TEL.0558-22-0412

※こちらの下田まち遺産の位置については、本誌9ページをご参照ください。



01 すずきてい 鈴木邸

伊豆石と漆喰が見事な鈴木邸は雑忠(02)の分家であり、明治から大正にかけて建築されたといわれています。内部は近年改装され、「和の風情」と「住みやすさ」を両立した造りとなっています。現在は市が行うまちづくりイベント時に内部を見学できます。

04 ひものよこちょう ひもの横丁

水産店や干物店が多く集まる地区で、アジやイカなどが道路脇に無造作に干されています。いつしか「ひもの横丁」と呼ばれるようになりました。下田では当たり前の風景として定着していますが、市外・県外の方は驚いた様子でレンズを向けています。干物が干されているのは晴れた日の午前中です。

02 さいちゅう 雑 忠

雑忠家の祖先は和歌山の雑賀衆が海を渡り、下田の地に根をおろしたといわれています。江戸時代初期から下田の産業の中心であった伊豆炭や伊豆石を運ぶ商家として栄えてきました。なまこ壁が続く景観はあまりに有名です。現在の建物は百数十年前に建築されたといわれています。

05 まつもとりょかん 松本旅館

安政2年建築で、安政3年から旅館を営み、現在に至っています。なまこ壁の外壁は見事であり、松本旅館と書かれた扉には、歴史の重みを感じることができます。下田は風待港であり、松本旅館のような旅館業が盛んだったことを窺い知ることができます。現在は残念ながら営業していません。

03 みなとばしからのちょうぼう みなと橋からの眺望

みなと橋からは下田の港が一望できます。多くの船舶が河岸に接岸されている景観は、潮の香りとともに、港町下田を体感できます。橋の中央にはベンチが設置されており、足休めの際にもこの眺望をお楽しみいただけます。お盆の下田太鼓まつりの巡行もこちらを通ります。

06 あんちょくろう 安直楼

お吉が明治15年に料亭を開いたことで有名な安直楼は、江戸時代末期に建築されたといわれています。奥に長い京町屋のような構造であり、お吉没後、先々代は寿司屋を営み、先代の時には建物内部やお吉ゆかりの品などを見学できました。現在は市が行うまちづくりイベント時に内部を見学できます。



01



02



03



04



05



06



07



08



09



10



11



12

07 きゅうさわむらてい 旧澤村邸

大正4年に建築された建物で、伊豆石の堀となまこ壁のコントラストが見事です。当時は造船資材を入れていた倉庫が立ち並んでいたといわれています。平成20年に澤村家より下田市に寄贈されました。現在は改修・補強され、観光拠点として一般公開しています。※本誌2ページに関連記事

10 けつぼうしょあと 欠乏所跡

下田に來航した黒船に物資を供給していた場所が欠乏所です。当初は水や食料、石炭などに限られて供給されていましたが、次第に反物、塗物、貝細工、瀬戸物などが欠乏品供給の名目で売買されるようになったと伝えられています。当時、貿易は認められていなかったものの、実質的な貿易はここから始まりました。

08 と さ や 土佐屋

安政元年に建てられたと言われる土佐屋は、最盛期は4隻もの廻船を持ち東北から関西にかけて荷物を運搬していました。なまこ壁と漆喰のコントラストは見事です。現在は飲食店が入り、夜になるとなまこ壁がライトアップされ、幻想的な空間を楽しむことができます。

11 くしだぐら 櫛田蔵

明治30年から40年にかけて建築された蔵であり、米や酒を扱う商家の蔵として使われていました。当時は下田の米相場がこの場所で行ったといわれています。伊豆石となまこ壁のコントラストが見事な櫛田蔵は、今年度中に修景を含めた改修工事を行い、新しい命が吹き込まれます。

- 01 濃い茶色に塗られた格子戸が印象的な鈴木邸に和の趣を感じる。
- 02 白と黒のコントラストが目を行くなまこ壁が続く雑忠。
- 03 港町下田をみなと橋から眺める。
- 04 無造作に干されたひものにしはし見入ってしまう。美味しそう。(ひもの横丁)
- 05 こんな湯宿がまちなかに何軒もあったのかと思うと感慨深い。(松本旅館)
- 06 歴史上の人物「お吉」が居た安直楼が未だにあるなんてびっくり。
- 07 登録まち遺産(歴史的な建造物)が修復され、次世代に受け継がれることが普通になればいい。(旧澤村邸)
- 08 橋の欄干の赤色と白黒のなまこ壁(土佐屋)が粋な景観を演出している。
- 09 石畳の敷詰められたペリーロードは文字通りペリーが歩いた通り。同じ道を歩くと感慨深い。
- 10 欠乏所跡にはレトロなレストランが営業。
- 11 改修が切望される櫛田蔵を見上げる。
- 12 色鮮やかな花が綺麗に飾られている。(ハンギングバスケット通り)

同行モデル感想

着物を羽織り、澤村邸からペリーロードを覗いた瞬間、自分がタイムスリップしたかのような不思議で心地よい感触を味わいました。下駄を鳴らしながらまち歩きすると、小さな発見の連続で「下田の町並みはオシャレなんだな」と実感しました。



09 ペリーロード

下田の景観を代表する地区で、景観重点地区の候補地となっています。土佐屋、草画房、旧澤村邸といった登録まち遺産の他にも、趣がある建物が立ち並び見学者が途絶えません。石畳の道路やガス灯、足元灯も整備され、夜間にはオレンジ色の優しい光が行きかう人を包みます。

12 はんざんぐばすけつとどおり ハンギングバスケット通り

下田市花協会は旧町内全域で花をテーマにしたまちづくりを行っています。なかでも素晴らしいのが、ハンギングバスケット通りです。1年を通して花の香りを楽しみながらまちなかを散策できます。花が好きな方はぜひお立ち寄り下さい。(表彰歴多数有り)

※ご見学の際は原則として、外観のみをご覧ください。(旧澤村邸を除く)

こちらの下田まち遺産については、下田市役所ホームページ内にて紹介しております。

下田まち遺産

検索